

保健、医療又は福祉の増進を図る活動

保健福祉

1 法人紹介～概要～

ボランティアグループから立ちあがり、家族の代わりにお手伝いできることは何かを考えて活動をつづけてきている団体です。平成16年1月に設立し、平成19年度には松山市福祉大会で市長賞を授与され、その活動が多方面に認められています。

2 お話を伺った方



活動を始めて11年になります。支援をする立場の方から癒していただいて、喜びをもらっています。

◀(左から) 青木さん、事務局:宮崎さん

アピール ポイント

高齢者の方が自宅で気持ちよく過ごせるようにと、支援しています。住み慣れた地域で安心して暮らすためのサポートに取り組んでいます。

3 生活支援事業



家の中・外出・入院中と主に3種類の生活支援を行っています。具体的には、家事・買い物、病院への付き添い、見守り、入院中の身の回りのお世話などがあります。介護認定が下りるまでの間の利用や、要支援でなくなった方、逆に介護保険の限度を超えてしまった方などが利用されることが多く、介護保険による、ホームヘルパーの方の支援が行われない範囲の生活支援をがんばっています。

4 その他には…



福祉用具の レンタル

ご希望に合わせた介護用品のレンタルを斡旋しています。それに伴い福祉用具の販売も手がけています。

住宅改修の仲介

手すりの取り付けや、段差の解消など、よりスムーズな生活をするための住宅改修の仲介を行っています。

法人データ

代表者	渡部 美保 (わたなべ みほ)
設立日	平成16年1月5日
理事数	10人
会員数	17人 (平成21年10月現在)
URL	なし
E-mail	aiaitsudoioie@tau.e-catv.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位: 千円)
<経常収入>	3,749
・会費	16
・補助金	0
・寄付金	29
・事業収入	3,383
・その他収入	321
<経常支出>	3,658
・生活支援事業費	407
・福祉用具の貸与等に関する事業費	2,719
・その他支出	532
<経常収支>	91

1 法人紹介～概要

県民が相互に助け合う「愛と心のネットワーク」を実現するため平成15年7月に設立し、介護の研修拠点としての役割を担っています。また在宅介護の負担軽減のため介護支援（通所・居宅介護支援、宅老）を行うとともに、介護ボランティアの育成を図っており、現在は県指定管理者制度に基づき、「愛媛県在宅介護研修センター」を運営しています。

2 お話を伺った方



介護保険に頼らない、在宅介護の在り方について、仲間を作って共に学びましょう。スタッフが丁寧にアドバイス致します。

▲(左から) 研修室長：吉木邦子さん、事務室長：日野孝雄さん、介護室長：村上美恵子さん

アピールポイント

Q&A

◎在宅介護は難しい？

▲いいえ、介護スキルを身につければ在宅でも介護は充分可能です。愛媛県在宅介護研修センターの施設を使ってまずは体験を。お気軽にご相談ください。

3 事業案内



当法人は、「人が人として最期まで尊厳を持って生きることを支えるのが介護の本来あるべき姿」と考えて活動しています。事業として在宅介護支援、介護ボランティアの育成、県から委託された項目に基づく研修事業、法人が独自に行う研修の他に通所介護事業、居宅介護事業、託老（通所介護利用者対象）等を行っています。施設利用者に制限はなく、介護について学びたい人や興味のある人であれば誰でも利用できます。お気軽にお問い合わせください。

4 講座を受講しよう



当法人の受託事業または自主事業で開講している各種講座には、毎回多くの受講生が集まり、大変好評を得ています。内容は介護全般にわたるテーマを取り上げています。受講者の経費負担も少なく、一般の方から介護専門職の方までどなたでも受講できます。ご要望があれば、出張講座も行います。その際の講師料・交通費等は一切必要ありません。当法人ホームページ、お電話にてお問い合わせください。

法人データ

代表者	吉野内 直光 (よしのうち なおみつ)
設立日	平成15年7月23日
理事数	11人
会員数	43人 (平成21年10月現在)
URL	http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakukaigo
E-mail	aitokokoro.e@sgr.e-catv.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	103,275
・会費	1,547
・補助金	0
・寄付金	326
・事業収入	101,323
・その他収入	79
<経常支出>	99,487
・愛媛県在宅介護研修センター事業費	42,546
・介護部門事業費	56,895
・その他支出	46
<経常収支>	3,788

1 法人紹介～概要～

平成11年4月に設立し、愛媛県第1号で特定非営利活動法人の認証を受けて活動を続けています。『行動するボランティア』『自ら学び、自らを高めるボランティア』『参加し、支えあい、広がるボランティア』を基本方針として、活動しています。

2 代表者



多くの特技、技能を持った人たちが集まっているので、さまざまなニーズに合わせた活動を行うことができます。

◀理事長：野本 千壽子さん

アピール ポイント

ボランティアの継続は力なり！長く続けることで、多くの皆様のご支持を得て広がってきています。

3 事業は…



生涯学習支援事業として、主に**ホームヘルパー養成講座**を定期的に行っており、今まで3300名を超える修了者を輩出してきました。専門的な知識と技術を習得していただくまでお手伝いをさせていただき、就労に向けた相談にも応じています。地域交流事業として、有志が集い '**おいで屋ちんどん一座**' が福祉施設

への慰問や敬老会イベントの協力をしています。その他にも野点祭り、盆踊り、収穫祭、クリスマス会、日本のお正月、ひな祭り等のイベントを企画・開催。地域と人々とを繋ぐお手伝いをしています。内容は毎年バージョンアップされています。

4 EM普及活動

平成21年10月にEM（有用微生物群）開発者の比嘉照夫先生を招いて特別記念講演会を行い、学校教育関係者や地域のEM愛好者ら約400人の方が集まりました。プール清掃にEMを活用している愛媛県の学校数は145校に達し、全国1位になっています。アクティブボランティアでは今後、EMが地域に根付くための意識の高揚を促すような啓発活動をしていきたいと考えています。



法人データ

代表者	野本 千壽子 (のもと ちすこ)
設立日	平成11年4月8日
理事数	20人
会員数	40人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.npo-activev21.or.jp/
E-mail	active21@atomgroup.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	30,279
・会費	50
・補助金	0
・寄付金	0
・事業収入	29,873
・その他収入	356
<経常支出>	30,078
・NPOサポートセンター運営事業費	10,500
・ホームヘルパー養成講座事業費	8,595
・その他支出	10,983
<経常収支>	201

1 法人紹介～概要～

障害のある人の表現活動支援と社会参加の拠点として、平成16年3月に設立しました。障害者への陶芸、絵画制作支援と作品の展示と紹介。和太鼓演奏支援、音楽ムーブメント支援や各種のコンサート開催。障害のある人の優れた感性や可能性を引き出す表現活動の支援を続けます。

2 アトリエ素心居

アピール
ポイント



一階が工房、二階がギャラリーです。平成15年、愛媛県より環境に配慮した建造物として、「愛媛アメニティー賞」を受賞！
◀天然木造の自然な木の香りがします。



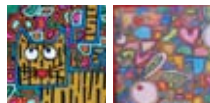
「せかいにすみっことはありません」

障害のある人の中には優れた感性や可能性を持っていながら、個性を発揮出来ない人が多くいます。特に養護学校を卒業すると創作の機会や場所は限られています。アートを通して世界とつながりたい！

3 アトリエ素心居ギャラリー



アトリエ素心居の一階の工房で制作活動をしています。みんな楽しんで作品を作っています。制作には勢いがあり、思うままに熱中して作り上げていきます。計算も迷いもなく作られた、自由でオリジナルな作品たち。アトリエ素心居二階のギャラリーで展示しています。ぜひ観にいらしてください。



4 みんなでたたこuin愛媛2009

「和太鼓演奏」
愛媛県視聴覚福祉センターで第2、第4日曜日。



自分たちの好きなリズムで生き生きと太鼓を叩いています。(13:00～15:00)「音楽ムーブメント」
アトリエ素心居の二階で第3日曜日。ピアノに合わせて体を使って楽しく自由に音を感じています。(13:30～15:00)

法人データ

代表者	河部 宏子 (かわべ ひろこ)
設立日	平成16年3月17日
理事数	3人
会員数	100人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.geocities.jp/atorie123jp/
E-mail	atelier_soshinkyō@ybb.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位: 千円)
<経常収入>	2,901
・会費	399
・補助金	1,367
・寄付金	1,135
・事業収入	0
・その他収入	0
<経常支出>	2,901
・保健、福祉事業費	2,301
・その他支出	600
<経常収支>	0

1 法人紹介～概要～

平成18年11月に腎臓病患者らにより発足、平成21年6月に愛媛県認証NPO法人として設立しました。修復腎移植の早期再開を目指し、これら活動の全国展開を図っています。主な活動内容は腎臓移植に関する情報提供・相談、講演会の開催、腎移植推進のための出版事業を手がけています。

2 お話を伺った方



修復腎移植を広め、患者とその家族をサポートしていく唯一の団体として、活動を進めています。

◀理事：河野 和博さん

アピール ポイント

腎臓移植の第3の方法として、「修復腎移植(レストア腎移植)」その理解を深めるための勉強会を、地域単位で実施しています。

3 判定委員会の設置



慢性腎不全の根治療法は腎臓移植ですが、国内で提供される腎臓は極めて少なく、献腎移植の場合、待機時間16年と絶望的。県内には130人の待機患者がありますが、提供者は年間1人いるかどうかという状況です。移植医療が停滞するなかで、腎移植では修復腎移植が進めば、多くの腎不全患者が救われます。平成21年1月に修復腎移植の臨床研究が認められたのを機に、当法人が第三者機関として、レシピエント(移植を待つ患者)の妥当性を公平に評価するレシピエント判定確認委員会を設置しました。

4 県民フォーラム

平成21年10月、高松市で開催された「県民フォーラム臓器移植」に協賛しました。講演やディスカッションを通して、修復腎移植の有効性や課題について論議を深めました。講演では「透析腎から腎がんが発生する頻度は、移植による再発率より高く、修復腎移植は、腎移植の第3の道として有用性が高い」と論じられました。患者からは「ある程度のリスクを負ってでも手術を決めるのは患者



の権利。捨てられる腎臓を使いたいという患者の思いまで閉ざさないで」との声が強く出ました。

法人データ

代表者	向田 陽二 (むこうだ ようじ)
設立日	平成21年6月10日
理事数	15人
会員数	90人 (平成21年10月現在)
URL	http://shufukujin.com/index.html
E-mail	kohno@lib.e-catv.ne.jp

平成20年度決算状況

※平成21年設立のため無し (単位：千円)

<経常収入>	-
・会費	-
・補助金	-
・寄付金	-
・事業収入	-
・その他収入	-
<経常支出>	-
・事業費	-
・事業費	-
・その他支出	-
<経常収支>	-

1 法人紹介～概要～

「福祉サービスの質の向上を目指して」平成13年11月にNPO法人として設立。平成19年10月には、愛媛県知事から「第三者評価機関」としての認証を受けました。「第三者評価事業」は客観的に・専門的な評価を受けることで事業者自らが個々の抱える課題を具体的に把握し、サービスの質の向上へむけて取り組むための支援を目的とします。

2 代表者



今後の活動やホームページを通して、沢山の方に当法人の活動を知っていただき、タイアップできるネットワークを築いていきたいです。

◀理事長：谷川 希幸美さん

「はなまるちゃん」の由来

エイジングサポートセンター はなまるちゃんには、福祉サービスがより良質に、より「はなまる」になればよいという思いが込められています。

アピール
ポイント



3 第三者評価事業とは…



愛媛県が策定した評価基準と、厚生労働省ガイドラインで示された評価項目を用いて行われるものです。結果の公表は、愛媛県福祉

サービス第三者評価事業WAM-NETホームページ及び、当法人のホームページ「はなまるちゃん」で公開されています。結果の公開期間は3年間です。評価結果を公表することにより、利用者が自分のニーズに適した事業者を選択するために有効な情報を提供しています。

4 ケアワーク研究会



当法人では、毎月第3土曜日（18:30～20:30）にケアワーク研究会を定期的に実施しています。職域・職場・職種を超えて、福祉・医療等の施設や在宅の介護現場で働いている方、介護に興味関心のある方、在宅で介護をしている家族、将来介護の仕事に就きたいと思っている方（学生さん等）など、どなたでも自由に参加していただけます。特に参加資格等は設けていません。ケアワーク研究会の開催日時はホームページをご覧ください。



法人データ

代表者	谷川 希幸美 (たにがわ まゆみ)
設立日	平成13年11月27日
理事数	11人
会員数	35人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.hanamaru-chan.com/
E-mail	npo.aging@shore.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	1,089
・会費	105
・補助金	300
・寄付金	619
・事業収入	15
・その他収入	50
<経常支出>	1,154
・第三者評価事業費	500
・講演会事業費	100
・その他支出	554
<経常収支>	▲65

1 法人紹介～概要～

NPO法人としてがん患者・家族の支援のための活動をしている愛媛県で唯一の団体で、平成21年4月に設立しました。がん患者・家族などが集い、語り合い、学びあいを通じて、がんと向きあう人々たちへの情報提供を行うとともに、がん患者の求めている医療環境、社会環境作りの実現を目指しています。

2 代表者



「愛媛にもがん患者と家族の会を作りたい!」と願って6人での準備会から活動が始まり、平成22年4月で2年になります。

◀理事長：松本 陽子さん

アピール ポイント

目今の相談活動はもちろん、5～10年先を見据えた各方面への提言ができるような活動も目指しています。

3 例会開催



例会は月に1度、“がん”という一つの共通点をもったさまざまな人が集まり、学びの会と語り

合いの会を交互に開催しています。学びの会は、がん治療に関する最新情報を専門家などから学びあう会です。語り合いの会は、会員同士が病気の不安や悩みを語り合える場です。おれんじの会の情報は、ホームページや県内のがん拠点病院などで見ることができます。

4 他にもこんな…



愛媛県の委託事業として、ピアサポーターの養成事業を行いました。この事業は、患者・家族としてがんに向き合った経験者が後に続く人を仲間（ピア）でサポートをするというものです。この活動によりがん患者・家族の支援に新しいパワーが生まれました。また市民向けセミナーを行っており、平成21年6月には「もっと知ってほしいがんのこと」と題したセミナーを行いました。12月には「家族塾」と題した家族向けのセミナーを行い、「家族必携」という冊子を作成してご好評を得ています。

法人データ

代表者	松本 陽子 (まつもと ようこ)
設立日	平成21年4月20日
理事数	7人
会員数	130人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.haisai.jp/orange/
E-mail	orange@haisai.jp

平成20年度決算状況

※平成21年設立のため無し (単位：千円)

<経常収入>	-
・会費	-
・補助金	-
・寄付金	-
・事業収入	-
・その他収入	-
<経常支出>	-
・事業費	-
・事業費	-
・その他支出	-
<経常収支>	-

1 法人紹介～概要～

平成13年10月に設立し、高齢者の健康を維持・増進するための情報収集、調査研究、知識及び技能の向上、実践及び普及啓発等に関する事業を実施することにより、高齢者の健康増進と自立支援を図り、高齢者自身が生きがいの持てる社会の実現を目指して活動しています。

2 お話を伺った方



高齢者が自立した生活を送るためには、筋力トレーニングが欠かせません。仲間と一緒に楽しく始めませんか。

◀理事：芝 亜紀さん

アピール
ポイント

運動嫌いの方でも、たった一度の指導で運動好きに大変身させるノウハウがあります。

3 運動指導地域リーダー研修会



愛媛県との協働により「えひめ“元気”プロジェクト」と題した運動指導地域リーダー研修会を行いました。平成20年

度から特定健診・保健指導が実施され、今まで以上に運動指導の結果が求められるようになりました。メタボ予備軍の方々を中心に、中高年の皆さんを対象とした、専門家でなくとも取り組める運動方法を紹介しました。歩行姿勢のチェックによる二次的障害の予防・腰痛予防のための筋力トレーニング・楽しく続ける工夫などを盛り込んだ内容で、研修会は2会場で延べ400名が参加され、盛況のうちに終わりました。

4 高齢者体操指導者養成セミナー



高齢者がいきいきと自立した生活を送るためには、楽しく続けることができ、自分の体の状態に合った体操が欠かせ

ません。この養成セミナーでは、高齢者の人格を尊重しともに体操を楽しむ指導法、元気高齢者から日常生活動作能力に応じた運動指導方法を実習します。片麻痺の方や車椅子生活の方にもできる体操や柔らかいボールやチューブを使った体操なども紹介します。高齢者と接する方ならどなたでも受講できます。詳しくはお問い合わせください。

法人データ

代表者	三木 哲郎 (みき てつろう)
設立日	平成13年10月4日
理事数	12人
会員数	230人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	roomaki@mvp.biglobe.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	954
・会費	539
・補助金	0
・寄付金	38
・事業収入	359
・その他収入	18
<経常支出>	1,315
・健康生きがいづくりフォーラム事業費	853
・高齢者体操指導者養成セミナー事業費	0
・その他支出	462
<経常収支>	▲361

1 法人紹介～概要～

平成12年7月に設立し、県内の酒害に悩む人々に断酒を勧め、酒害に関する啓発活動を行うと共に、愛媛県断酒会・各支部の自主的活動を援助し、その連携を図ることにより酒害の及ぼす社会悪の防止に努め、広く社会福祉に貢献しています。

2 代表者



アルコール依存症は「否認の病気」と言われ、殆どの方がそれに気付くことなく症状を悪化させてしまいます。

◀理事長：川口 良樹さん

アピール ポイント

断酒への道は、「体験談に始まり、体験談に終わります。」人の話を聞いて改めることです。

3 例会に行こう

断酒会は、メンバーの殆どが酒害経験のある方々で構成されています。愛媛県下では、東・中・南予に支部がありアルコール依存症等の酒害に悩む方、その家族を対象とした相談窓口である「例会」を開催しています。電話予約等は不要で、指定された日時に当該者が会場へ向いて相談をします。断酒したいという意思の強い方は、断酒会へ入会して例会に通うようになります。お酒は断酒会で辞められます。まずは例会に出掛けてみませんか。

4 ワンナイトセミナー



愛媛県断酒会では、毎年1月に「ワンナイトセミナー」と題した例会を開催しています。1泊2日の研修ですが、酒害者それぞれの体験談を聞きあうことで、断酒への思いを強めます。同様のセミナーは各県でも行われ、会員は各県のセミナーへ出向いて、会員同士の交流も深めます。断酒は、本人の「お酒を辞めたい」という強い気持ちと、家族の支えが大切です。

法人データ

代表者	川口 良樹 (かわぐち よしき)
設立日	平成12年7月18日
理事数	17人
会員数	120人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1~H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	3,706
・会費	1,090
・補助金	0
・寄付金	0
・事業収入	1,909
・その他収入	707
<経常支出>	3,586
・愛媛県 松山ワンナイトセミナー事業費	1,356
・市民公開セミナー事業費	825
・その他支出	1,405
<経常収支>	120

1 法人紹介～概要～

地域の高齢者及び青少年に対して、「生涯スポーツ」に関する事業を行うために平成17年10月に設立し、高齢者には交流と健康・生きがいづくり、青少年には健全育成と地域の人たちの親睦を図り地域活性化に寄与しています。

2 お話を伺った方



ディスコンはコミュニケーションスポーツです。県の武道館で県大会を開催することが現在の目標です。

◀副理事：末光 五三さん

アピール ポイント

ゲーム前に礼をし、ゲーム後に礼をして握手をすることで親密度も増します。友達作りができます。高齢者だけでなく、若い人や児童も参加していますので、異世代間交流にもなります。参加者と“楽しさ”を共有します。また、愛媛県高齢者大学校のスポーツに採用されて、正規授業で行われています。

3 ディスコンとは

赤と青の6枚の円盤「ディスク」を、2チームに別れ、コントロールよくポイントに近づけて競うゲームです。年齢や場所を問わず、地域活性化にぴったり。健康に介護予防に仲間作りに、また公民館活動としても行える、新しい軽スポーツです。



4 ディスコン大会



人間関係の改善や健康づくりに役立ち、また、競技を通じて生きがいづくりにもなります。チーム名を難しい横文字にするのではなく「かば」、「さる」や「うま」など動物の名前にすることで参加者も童心に戻ります。上位チームだけでなく最下位のチームや、当日の日付の順位のチームなどにも賞をあげたりすることで、多くの参加者に楽しんでもらうような工夫をするなど“楽しむこと”をキーワードにしています。新居浜市の惣開町では秋の体育祭時に校区のスポーツ大会でディスコンを実施しています。約100名の地域住民が参加して三世代交流戦を行い地域活性化に役立っています。

法人データ

代表者	田坂 信一 (たさか しんいち)
設立日	平成17年10月4日
理事数	7人
会員数	96人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	Suemitu53@lion.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	985
・会費	95
・補助金	87
・寄付金	45
・事業収入	755
・その他収入	3
<経常支出>	823
・高齢者仲間づくり事業費	611
・指導者育成・登録代行事業費	61
・その他支出	151
<経常収支>	162

1 法人紹介～概要～

平成13年6月に設立し、視覚障害と聴覚障害を併せ持つ人の社会参加を支援するとともに、また通訳介助者の養成、派遣を行ったり、お花見やピクニックなどの交流会を実施しています。

2 代表者



私たちを理解して
ください、そして一緒
に歩みましょう。

◀理事長：高橋 信行さん

アピール ポイント

他の障害者団体は障害者のみの交流でその周りに支援者がサポートをするような形が比較的に多しな中で、友の会は障害者と共に、支援者自身も参加しながら支援しています。

3 盲ろう者通訳ガイドヘルパー養成・派遣事業



人の手によってしかできないことがあり、そういうことを支援サポートできる技術を持った人を養成し、派遣をしています。盲ろう者ができないことはたくさんあり、

そうしたことが社会参加を阻んでいます。通訳介助者による支援サポートで社会参加のチャンスが広がっていきます。通訳・ガイドヘルパーさんの声：「きっかけは、通訳介助をしている現場を実際に見て、通訳介助者養成の講習会の存在を知り、やってみようと思いました。いろいろな盲ろう者の人たちと出会い、自己実現を達成して、人の役に立つことで生きがいを感じ自分の人生が豊かになりました。」

4 お花見・ピクニックなどの交流会

みんなが集い、一緒に活動することで新しい力がわいて、みんなが元気で生きていくことができます。様々な人と交流することで少しずつ盲ろう者の存在やニーズを知ってもらい自立、社会参加のチャンスが広がっていきます。



法人データ

代表者	高橋 信行 (たかはし のぶひき)
設立日	平成13年6月22日
理事数	5人
会員数	50人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.db-tarzan.no-ip.info/tomonikai/
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)		(単位：千円)
<経常収入>		346
・会費		88
・補助金		0
・寄付金		2
・事業収入		255
・その他収入		1
<経常支出>		370
・研修事業費		200
・交流事業費		120
・その他支出		50
<経常収支>		▲24

1 法人紹介～概要～

平成15年10月に設立し、しょうがいのある人、そのご家族、地域のみなさん、ボランティアのみなさんと福祉専門職スタッフが協働してライフサイクル支援を行っています。

2 代表者



福祉の現状がもっとよりよいものになるにはどうしたらよいかを考えて、法人の運営に当たっています。

◀理事長：米田 順哉さん

アピール ポイント

しょうがいのある方の地域生活を一生にわたり支えるのが私たちの使命です。幼児期、学童期、成人期、高齢期の各時期に必要な支援を適切にコーディネートしてご本人が望む地域生活を実現してもらうことをライフサイクル支援と呼んでいます。

3 ゆるり茶屋夢家



平成20年6月愛媛県庁第一別館地下1階にオープンした飲食店です。就労継続支援B型事業として、

しょうがいのある方が働くことにより、給料を得る喜びや、働くことの感動を体験できる職場になっています。県庁をはじめ近隣の職場の方にも多く来ていただき、舌鼓を打っていただいています。お昼時間以外でも喫茶の利用が可能です。

4 夢ポケット



しょうがいのある方が地域で生活していくためには、地域の方々に知っていただくことが必要です。矢磨樹（うどん屋）、ハッピークリーン（公園、コンビニエンスストア、マンション等の清掃事業）、夢の宅配便（野菜農家さんとのコラボによる宅配事業）などの仕事を通じて地域の皆様とのふれあう機会を設けています。また、今後は余暇支援を本格的に取り入れたいと考えています。

法人データ

代表者	米田 順哉（よねだ じゅんや）
設立日	平成15年10月27日
理事数	10人
会員数	1083人（平成21年10月現在）
URL	http://www.h7.dion.ne.jp/~kazoku/
E-mail	kazoku@r6.dion.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	92,463
・会費	0
・補助金	3,112
・事業収入	86,915
・その他収入	2,436
<経常支出>	94,381
・就労移行支援事業費	25,929
・就労継続B型支出	21,486
・生活介護事業費	22,263
・その他支出	24,703
<経常収支>	▲1,918

1 法人紹介～概要～

平成20年2月に設立し、地域のひととともに心の健康づくりや心の元気を発信する基地として活動しています。地域や企業に向けてのうつ病予防啓発や、うつ病の早期発見・治療につなげる街角相談所活動、さらに当事者と家族を孤立させないための交流の場やリハビリプログラムを提供しています。

2 代表者



「誰もが、笑顔で生きられる社会になってほしい」そのような思いを胸に、心を元気にする講演やワークショップをしています。

◀代表理事：村松 つねさん

アピール ポイント

心の元気作り・笑顔作りをサポートします。来るだけで、ホッとできる場所です。

3 こころ塾では…

うつ病の予防から職場復帰まで、地域に根ざしたさまざまなサポートをしています。具体的には、[週末イベント](#)・[誰でもホッとステーション](#)・[うつ病基礎セミナー](#)・[職場復帰支援プログラム](#)・[就職支援プログラム](#)・[心の元気街角相談所](#)、などのイベントやプログラムを用意してあります。うつ病当事者の方もわかりで支援する方も、気軽に相談・参加してください。こころ塾では対面でお話を聞くことを基本に、相談活動を行っています。人と人でお話することで、より具体的なお話をする機会となります。支えるご家族の方にも、仲間と集える場所があるというホッとできる場所として、こころ塾を利用してください。

4 うつ病予防啓発セミナー



地域の皆様に向けてのセミナーを公民館や福祉機関と協働で開催しました。また、企業へ出向いてのセミナーも開催して

います。開催回数が、平成20年度には21回だったものが、平成21年度には12月末現在ですでに40回近くなり、多くの方にうつ病を知っていただく機会となっています。その中から、誤解や偏見をなくし、早期発見・早期治療を促すことのできるサポーターを増やしていくことが大切だと考えています。

法人データ

代表者	村松 つね (むらまつ つね)
設立日	平成20年2月29日
理事数	3人
会員数	74人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.kokorojuku.net
E-mail	kokorojuku@otoiwase.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	5,515
・会費	227
・補助金	2,100
・寄付金	0
・事業収入	3,177
・その他収入	11
<経常支出>	13,904
・心の病に係る予防支援事業費	4,416
・心の健康づくりに係る職場の環境作り支援事業費	863
・その他支出	8,625
<経常収支>	▲8,389

1 法人紹介～概要～

育児サークルで集まったメンバーがボランティアグループから平成13年4月に法人を設立し、スキルアップを重ねて活動を行っている団体です。愛媛の「頑張るママの応援団!」として、子育てにやさしいまちづくり・人づくりを目指して活動しています。

2 代表者



親子が集う場を作ろう!を目的に団体を立ち上げました。よいメンバーに恵まれて活動が続いています。

◀代表理事: 山本 由美子さん

アピール
ポイント

親子が安心して集える場を提供しています。木のおもちゃや絵本など充実した遊具もそろっています。

3 子育てひろばくーふぁん



松山市地域子育て支援拠点事業として、2007年松山市中央にオープンした0歳から3歳までの小さなお子様のいる親子のための集いの場です。子育てってしんどい...

と思ったときに、くーふぁんに来て、同じように子育てをしている仲間に出会えることで、聞いてもらえる人がいることで、大変なのは自分だけではないんだと思ってもらえる場になることを目指しています。

4 その他にも...

子育てひろばすくすくステーション

イオンモール新居浜内でイオン(株)の受託を受けて運営しています。0歳～3歳までの小さなお子様連れの方のためのお部屋です。150冊の絵本や木のおもちゃで遊ぶことができます。予約が必要なプログラムもあります。



会報誌 こねっと通信

年6回10,000部を発行し市役所はじめ小児科や産婦人科にご協力をいただいで無料配布しています。

法人データ

代表者	山本 由美子 (やまもと ゆみこ)
設立日	平成13年4月19日
理事数	6人
会員数	40人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.conet-ehime.or.jp
E-mail	npo@conet-ehime.or.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位: 千円)
<経常収入>	26,069
・会費	400
・補助金	2,300
・寄付金	3,010
・事業収入	20,337
・その他収入	22
<経常支出>	21,071
・子育てひろばくーふぁん事業費	4,720
・子育てステーション事業費	3,294
・その他支出	13,057
<経常収支>	4,998

1 法人紹介～概要～

平成14年6月に設立し、コミュニケーションなどが苦手な自閉症など、発達障害児・者等に対して、環境構築による生涯にわたる社会的、生活的自立支援に関する事業を行うとともに、権利擁護ならびに発達障害に関する地域理解の促進を図り、発達障害児・者等の福祉の増進に寄与することを目的としています。

2 豊かに生きる



発達障害はとても身近な障害です。発達障害に対して、まずは理解を深めてもらうべく、私たちは活動を続けています。

アピール ポイント

発達障害についての正しい理解と支援を地域の方たちとともに共有し、彼らがその素晴らしい特性を生かして生きていけるように支援します。

3 コミ研とは



コミ研とは、当法人の略称です。自閉症など発達障害を伴う児者を対象とした、彼らのライフステージを貫いてサポートしていく所存で展開しています。

◎ライフサポートここはうす：発達障害児者のアフタースクールの存在。個別相談、各種検査、自立生活支援、訪問相談、スタッフ派遣、早朝・夜間一時預かりなど。◎ヘルパーステーションうおーむはーと：移動支援、居宅介護、行動援護事業。◎放課後クラブこっころ：今治市委託：心身障害児童放課後等対策事業。＊登録料・年会費・利用料がかかるものがあります。お問い合わせください。

4 ともに豊かに生きるために



成21年度東予地方局発達障害ネットワーク事業の委託により、発達障害を伴う方たちの苦手なこと・得意なことを地域の方々に理解してもらうための手引きを作成しました。話すことやコミュニケーション、対人関係を苦手とする彼らと意志の疎通を図るためには見て分かるもの、事前に見える形で伝える、伝える情報量に気を配る、ことばのコミュニケーションに頼りすぎないなどの要点があります。彼らが豊かに生きるためにも、ご理解とご協力をお願い致します。

法人データ

代表者	明智 美香 (あけち みか)
設立日	平成14年6月27日
理事数	10人
会員数	78人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.comiken.info/
E-mail	cocohouse@m7.dion.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	22,260
・会費	2,370
・補助金	5,221
・寄付金	246
・事業収入	14,392
・その他収入	31
<経常支出>	19,841
・今治市中心身障害学童放課後対策事業費	5,159
・知的障害者居宅介護等事業及び児童居宅介護事業費	3,135
・その他支出	11,547
<経常収支>	2,419

1 法人紹介～概要～

平成18年9月に設立し、障害者の自立と社会参加を進めるために活動しています。地域活動支援センターとして作業所ころころを運営し、障害者の働く機会の提供と障害者が地域で生活する環境づくりを整えることを柱としています。また、平成22年4月より、地域活動支援センターから多機能型事業所へと移行し、指定就労継続支援B型事業所として、砥部町で心機一転、活動に励みます。

2 お話を伺った方



ころころは、明るく楽しい職場であり、未来にむかっているなことにチャレンジします。

◀センター長：大石 澄江さん

アピール ポイント

利用者の方が気持ちよく生活できるよう運営側も明るく活き活き活動するよう心がけています。

3 日中活動



利用者の方の日中活動として、作業を行っています。作業の内容は、宇和島市のNPO法人結の会さんから仕入れたよもぎを入浴剤用のバックに詰める作業や、木工品の制作などです。利用者の方は「がんばって動くとお金になるんだ」という気持ちをもって一

生懸命作業に当たっています。利用者の方は手にした賃金の中から自治会費を積み立てて、自治会活動「みんなで遊ぼう会」も行っています。毎月利用者の要望を出し合い、映画鑑賞やボウリングなどの余暇活動をしています。



4 今後の活動

平成22年4月より、今までの活動を踏まえさらに拡がりをもてるよう、多機能型事業所ひかりを開設する予定です。障害者が給与をもらえるシステム作りを構築できるよう、親御さん亡き後の事まで考えた支援ができるよう、これからもがんばります。

平成22年4月1日より
〒791-2112
伊予郡砥部町重光23番地3
Tel (089) 958-9190になります

法人データ

代表者	丹 直文 (たんなおふみ)
設立日	平成18年9月6日
理事数	8人
会員数	18人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.k2.dion.ne.jp/~coro2
E-mail	coro2-fukushi@s7.dion.ne.jp

平成20年度決算状況

	(単位：千円)
(H.20.4.1～H.21.3.31)	
<経常収入>	12,590
・会費	90
・補助金	8,384
・寄付金	947
・事業収入	2,947
・その他収入	222
<経常支出>	13,181
・地域活動支援センター運営事業費	11,727
・その他支出	1,454
<経常収支>	▲591

1 法人紹介～概要～

上島町内(旧生名村)の高齢者または独居老人を対象とした島内車両送迎、介護保険適用内外に関する福祉サービスを提供しており、平成14年12月に設立しました。生活力を高め、安心して暮らすことができるよう地域・社会と一体化した生活支援体制の増進に寄与することを目的としています。

2 スタッフ



上島町民(旧生名村)一人ひとりが安心して暮らすことができるよう、困っている方々の外出支援やお助けサービスを行っています。

◀(左から)中郷恭子さん、
代表：村本祐子さん

アピール ポイント

サン・スマの由来はサン=太陽のように明るくスマ=スマイル、いつもニコニコ上島町民の「ありがとう」を胸に毎日元気に頑張っています。



3 島民の足となります



「サン・スマさんのおかげで病院に行けるんよ、ありがとう。」上島町内(旧生名村)にはバスやタクシーなどの移動手段が無く、島内に住む高齢者の通院や移動には車が欠かせません。サン・スマは「有償旅客運送者登録証」を有しています。またドライバーの皆さんは**第二種普通免許所有者**ですから、安心して乗車できます。近隣の島しょ部へ通院するための港までの移送や、島内移送などはお任せください。*利用対象者は会員に限りです。◎利用料金は距離制(タクシーの半額程度)です。◎利用時間/8:00~17:00 休日:日・祝、お盆、年末年始。*特別事情の場合、この限りにあらず。

4 訪問介護サービス



介護保険法に認定された要支援、要介護状態にあたる高齢者に訪問介護サービスを行っています。サービスを利用するには**ケアプランの作成が必要です**。利用者の方にご負担いただくのは、基本的に介護保険適用サービスの利用額の1割です。また、**お助けサービス**(利用料:1,000円/時間)として掃除や家事手伝い、買い物、庭木の手入れ等を致します。詳しくはお問い合わせください。

法人データ

代表者	村本 祐子 (むらもと ゆうこ)
設立日	平成14年12月3日
理事数	3人
会員数	201人 (平成21年10月現在)
URL	http://park19.wakwak.com/~sunsuma/
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1~H.21.3.31)	(単位:千円)
<経常収入>	12,427
・会費	108
・補助金	100
・寄付金	0
・事業収入	12,218
・その他収入	1
<経常支出>	13,296
・生活力を高めるためのサービス事業費	597
・社会福祉関連サービス事業費	10,868
・その他支出	1,831
<経常収支>	▲869

1 法人紹介～概要～

「長屋の縁側のような」家庭的で誰もが気軽にふらりと自然体で集える和やかな自然な雰囲気の中で、ご利用者の皆様に寄り添える介護・新しい形のサービスを目指して平成19年8月に設立し、19年10月からデイサービス事業を開始しました。高齢者の方の寝たきりを予防し、活気のある毎日へ…小規模だからこそできる温かい介護を実践します。

2 代表者



「人生は楽しい!! 嬉しいが一番!!」 毎週月曜日～金曜日の朝9:00～16:00まで毎日7～8名程度利用可能。

◀理事長：永木 文枝さん

アピールポイント

毎日利用者の方の為に、近所の方たちが集まり手作りの釜戸・パン釜でおいしいご飯を作っています！「共に生きる」をスローガンにいきいきと、家にいるように落ち着ける家庭的な雰囲気を目指して頑張っています。

3 イベント・行事



①定期講和：四国八十八ヶ所58番札所仙遊寺さんの講和は毎月1回定期的に行っていて、利用者の方たちもとても楽しみにしているとのことでした。

②おかげさま体操：理事長がリハビリを中心に考えた「おかげさま体操」では利用者の方から「これをするのが私の生きがいです。」という嬉しい言葉を頂きました。実際に体操を行っている所を見せて頂き、利用者の方たちのいきいきとした姿にとても驚きました!!

③ふれあい活動：また、今年の9月からは松山市のふれあい活動を実施。みんなで味噌作りを行ったそうです。来年は、子供達から高齢者までみんながわきあいあいと楽しめるようにイベントや交流会を増やしていきたいと話されていました。

4 日本人の心の原点「かまど」



デイサービスシンの特徴は、「かまど」で炊くご飯です。毎日炊きたてのご飯をお釜からよそってお出ししています。家庭的な食事になっています。また、菜園があるので、季節の採りたての野菜が食卓に並びます。看板スタッフのシン太郎くんともも太郎くんも明るく皆さんをお迎えしています。



法人データ

代表者	永木 文枝 (ながき ふみえ)
設立日	平成19年8月8日
理事数	5人
会員数	10人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	14,857
・会費	0
・補助金	232
・寄付金	134
・事業収入	14,043
・その他収入	448
<経常支出>	13,070
・通所介護・介護予防通所介護事業費	13,070
・その他支出	0
<経常収支>	1,787

1 法人紹介～概要～

平成7年に小規模作業所として活動を始め、平成18年9月に設立しました。小田地域のなかで唯一の障害のある人達の集まれる場所、仕事をする場所として活動を続けています。現在7名の利用者さんが登録。元気に通っています。

2 作業所



小田地域の中で唯一の小規模作業所です。週3日8:30～15:00まで開所。

◀皆で農作業しています

アピール ポイント

杉の子があることによって障害のある人の居場所があります。一人で居るより、ここに来れば皆と笑えます。地域の方たちの理解も得られ、障害者への差別も少なくなっています。

3 自主製品の制作



ふくろうやねずみ、ためき、かえる。かわい動物たちの小物づくりをしています。小田町道の駅「せせらぎ」や地域のバザーで販売しています。

杉の子のオリジナル製品で、「手作りめんつゆ」があります。地域の方たちに大評判で、年3～4回製造しています。無添加で、煮物、丼もの、天つゆなど何でも使え、とってもおいしいです。(市場には出ていませんが、500ml450円で販売しています。)

4 農作業・清掃作業



地域の畑を借りて、農作物を育てます。収穫した野菜でみんなのお昼を作ります。無農薬の野菜は美味しく、みんなで楽しく食べています。また「県立自然公園」の清掃活動(町からの委託事業)を続けており、捨てられた空き缶やごみを拾い、美しい自然、景観の保全に努めています。体を動かして、みんなと働くことは、うれしいことです。

法人データ

代表者	藤崎 安夫 (ふじさき やすお)
設立日	平成18年9月27日
理事数	3人
会員数	12人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	-

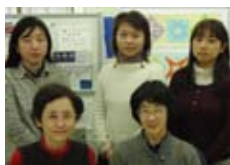
平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位:千円)
<経常収入>	3,382
・会費	0
・補助金	200
・寄付金	12
・事業収入	3,169
・その他収入	1
<経常支出>	3,382
・委託事業費	2,835
・その他支出	547
<経常収支>	0

1 法人紹介～概要～

平成13年11月に松山市在住の女性たちで設立し、各分野の様々な職種の女性たちが自分たちの老後の生活環境について考え追求するために活動を続けています。地域密着型外部評価事業、介護サービス情報公表制度、福祉サービス第三者評価事業、子育て支援事業などを手がけています。

2 スタッフ



Japan Masters Aged Care Serviceの頭文字を取ってJMACS。福祉サービス全般における質の向上を援助します。

◀理事長：中野 博子さん(前列右)
理事：首藤 京子さん(前列左)

アピール ポイント

子どもから高齢者までの「生活環境の向上」をお手伝い致します。

3 遊友学舎



松山市桑原にて「遊友学舎 (ゆうゆうがくしゃ)」という放課後児童クラブを運営しています。共働き家庭の子供が、放課後を安心して過ごすこ

とのできる場所の提供を行っています。滞在中のプログラムは、木工・料理など生活に密着したものから英語・科学実験・自然体験・書道・音楽にいたるまで、幅広く提供しています。また、持続可能な生活(エコ)を身に付けられるようにと、スタッフも共に勉強しつつ頑張っています。

4 介護職員のために



愛媛労働局委託事業「介護雇用管理改善推進委託事業」として、「代替人員補充モデル事業(代替派遣就労)」を実施しました。現場で働く介護職員の技術向上には研修や講座を受講しなくてはなりませんが、多忙な現場では欠員が出ると業務

に支障が出ます。そこで、介護現場経験のある代替職員を派遣し、業務を交代してもらう間に自身はキャリアアップができ、現場は今までと同じ運営ができる理想的な制度です。

法人データ

代表者	中野 博子 (なかの ひろこ)
設立日	平成13年11月1日
理事数	6人
会員数	10人 (平成21年10月現在)
URL	http://jmacs.jp
E-mail	info@jmacs.jp

平成20年度決算状況

(H.20.7.1~H.21.6.30)	(単位：千円)
<経常収入>	50,247
・会費	72
・補助金	2,580
・寄付金	2,690
・事業収入	44,895
・その他収入	10
<経常支出>	47,806
・外部評価・公表評価事業費	35,238
・遊友学舎運営事業費	4,138
・その他支出	8,430
<経常収支>	2,441

1 法人紹介～概要～

精神障害者の社会参加、就労支援の活動を目的に平成18年10月に設立しました。地域活動支援センターの明星共同作業所、きらりのウッディと就労継続支援B型事業所のしののめハウスを運営。障害者が自分自身の生き方を選択・決定しながら、あたり前に生活していくための拠点や福祉サービスをさらに充実していくために事業を推進しています。これまで病気のために多くのことを諦めていた利用者の「～したい」という言葉を聞きたい、普通の体験をする支援がしたいです。

2 就労支援

アピール
ポイント

一人で企業に行くことはプレッシャーとなりますが、ペアや、グループであればそれも少なくなります。法人契約なので穴はあけません！責任を持って仕事ができます。また職員が支援しますので、企業には障害者を雇いやすいメリットもあります。企業からは「社内の雰囲気が良くなった。」「本人のできることをやってもらおうと見ていましたが、他の従業員と同様に見るようになり（勉強に）なりました。」との声を頂いています。

3 明星共同作業所



20数年間、楽しい会話、冗談が飛びながら箱折作業や陶芸作業を行っています。

- ◎陶芸作品／500円～
- ◎休日／土日祝日
- ◎開所時間／9:00～17:00

4 しののめハウス



クッキーの製造を中心に子どもたちを交えたクッキー教室も開催しています。

- ◎クッキー各種／200円～
(コーンフレーク、ルシアン、くるみ、チョコチップ、抹茶等)
- ◎休日／土日祝日
- ◎開所時間／9:00～17:00

5 きらりのウッディ



オリジナルフレーム、手すきハガキや木工小物などを作成しています。ご注文も応じることができます。

- ◎木工小物／各200円、手づくりフレーム／500円、手漉きハガキ／100円等
- ◎休日／土日祝日
- ◎開所時間／9:00～17:00

法人データ

代表者	利田 等 (としだ ひとし)
設立日	平成18年10月26日
理事数	3人
会員数	17人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	uddhi-sora2006@pure.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

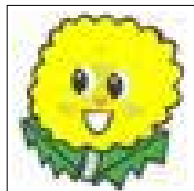
(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	38,139
・会費	115
・補助金	21,207
・寄付金	1,187
・事業収入	15,378
・その他収入	252
<経常支出>	37,783
・明星共同作業所事業費	8,184
・きらりのウッディ事業費	8,184
・その他支出	21,415
<経常収支>	356

1 法人紹介～概要～

平成3年どんなに障害が重くても、人間らしく生きる場、生きがいとなる場を作ろうとたんぽぽ福祉作業所がスタートしました。平成18年10月にNPO法人を設立し、平成21年には多機能型事業所たんぽぽスマイルとして、徐々にステップアップして活動しています。

2 お話を伺った方

アピール
ポイント



地域の皆様との
かわり・つながり
を大事に活動して
います。(所長:兵頭
志登美さん)

たんぽぽの花 笑っているように咲き続けている
仲間の笑顔もたんぽぽに負けないスマイルを持っている
あなたの笑顔はたんぽぽの笑顔
毎日笑っていると幸せが訪れる
あなたのやさしさやぬくもりを感じられる
そんなたんぽぽであり続けたい (山田 潤 作)

3 事業内容



生活介護事業と就労継続支援B型事業を行っています。その中で、一人ひとりの能力や適正を考へて日中活動を行っており、作業内容としては、お菓子の製造販売・台ふぎんの製造販売・ウエスの裁断があります。お菓子の製造は約4年ほど前から始まり、一般企業の方々を作るお菓子と同じようにきちんとした製品を作ろうとがんばっています。平成22年1月現在、クッキーやパウンドケーキ、シフォンケーキなどを主に製造しています。出来上がったものは、宇和島市きさいや広場内「JAみなみくん」や津島町「やすらぎの里」などへ納品し、ご好評を得ています。生産活動のほかに、理学療法士の方に来ていただいたの機能訓練やレクリエーション、遠足、調理実習なども行っています。

今後も、利用者が地域でいきいきと笑顔で暮らせるよう、日中活動の場、社会参加などを大切にし、利用者の可能性を広げ、一人ひとりの能力や適正にあった支援を行っていききたいと考えています。



法人データ

代表者	梶山 義将 (すぎやま よしまさ)
設立日	平成18年10月10日
理事数	10人
会員数	21人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位:千円)
<経常収入>	12,409
・会費	0
・補助金	6,561
・寄付金	347
・事業収入	5,472
・その他収入	29
<経常支出>	11,917
・たんぽぽ福祉作業所設置経営事業費	11,652
・地域生活支援事業費	121
・その他支出	144
<経常収支>	492

1 法人紹介～概要～

母校同窓会有志が設立したJAVDO（日本歯科ボランティア機構）の歯科救済活動（ベトナムストリート・チルドレン対象）に参加したことをきっかけに、ベトナムで貧困のために歯科治療を受けられない人々を支援する活動を始め、平成16年12月に設立しました。ベトナム貧困地域における歯科医療に貢献することによって日本、ベトナムの友好を深めます。

2 お話を伺った方



平成12年から現在まで（個人活動を含め）、年に2～3回程ベトナムを訪れ、約1週間滞在し、活動を続けてきました。（理事長：村瀬 隆夫さん）

アピールポイント

当法人は、日本ゆうちょう国際ボランティア貯金の資金的援助を受け、活動を行っています。



3 活動内容



①平成17年、個人でベトナム貧困地域に歯科診療台8台を含む中古機器を寄贈しました。②日本人専門家（歯科・薬剤・技工3部門）が無償歯科診療の模範を僻地の歯科関係者・人民委員会に示し、技術移転も行い熱意を伝えました。③平成19年度より平成21年度まで助成金で地区病院歯科に器材・薬品を寄贈しました。④国内事業としては、愛媛こどもの文化研究会と協働し、今治で日越文化交流を目的に紙芝居事業を行いました。

4 今後の活動



今後は、個人活動を中心に支援活動を行います。ベトナム・ホーチミン市に医科も含めた現地事務所・診療所・技工所兼研修所を設立したいと考えています。



法人データ

代表者	村瀬 隆夫（むらせ たかお）
設立日	平成16年12月8日
理事数	5人
会員数	42人（平成21年10月現在）
URL	http://www.dokidoki.ne.jp/home2/jmurase
E-mail	jmurase@dokidoki.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)		(単位：千円)
<経常収入>		16,931
・会費		10
・補助金		16,236
・寄付金		242
・事業収入		0
・その他収入		443
<経常支出>		17,708
・貧困地域の住民の為の巡回歯科診療事業費		16,019
・今治日越文化交流事業費		161
・その他支出		1,528
<経常収支>		▲777

1 法人紹介～概要～

平成18年1月に設立し、21年1月には事務所を松山市本町に設置し、精神しょうがいのある方の地域生活支援をすすめるために活動しています。日中活動の場として地域活動支援センター2施設、生活支援の場としてケアホーム5施設（共同生活介護事業、定員30名）の運営をしています。

2 お話を伺った方



ブログの更新やメルマガの配信も行っています。ぜひ登録ください!HPの新着情報などをお届けします。

◀どんまいクラブ指導員
田野陽子さん

アピール ポイント

毎年カレンダーの製作・販売をしています。「物語シリーズ」では、皆さんに伝えたいどんまいからのメッセージを込めています。どんまいクラブが企画・販売し、ゆっくりクラブで印刷・製本をしています。企業名入れも可能ですので、ぜひお問い合わせください。



3 どんまいクラブ



精神障がい者のための地域活動支援センターとして活動しています。平成21年6月に店舗「あとえdeまいんど」をオープン、利用者手作りのエコハガキ(全6色)やポストカード、バースデーカードのほか、オリジナル卓上カレンダー(社名入れ可)やいびつせんなどを販売、様々な場所での委託販売もしており、納品や在庫チェックも行っています。新商品のダンボールを使用して作ったエコ額もあります。壁掛け・フォトフレームに利用ができます。1つ1つ手作りですので世界に同じものは1つとありません。箱折りの内職やマンションの清掃・点検作業、店番も行っています。



4 ゆっくりクラブ



精神障がいを抱える方が日中過ごす場として利用されている地域活動支援センターです。内職箱折、マンション清掃、食事提供「ゆっくりランチ」等作業をしています。また、「いんさつの咲く屋」として、カレンダー・チラシ・名刺・ハガキ・機関誌などを受注し、印刷製本作業もしています。軽印刷が主ですが、ちょっとした印刷までお客様のニーズに答えられるよう頑張っています。精一杯良いものを作るようこれからも取り組みます。ぜひお問い合わせください。TEL 089-923-3527

法人データ

代表者	谷本 圭吾 (たにもと けいご)
設立日	平成18年1月23日
理事数	3人
会員数	124人 (平成21年10月現在)
URL	http://npo-donmai.web.infoseek.co.jp
E-mail	donmai-jim@mbe.nifty.com

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	76,124
・会費	625
・補助金	34,377
・寄付金	4,661
・事業収入	36,084
・その他収入	377
<経常支出>	51,209
・ケアホーム事業費	26,168
・どんまいクラブ事業費	12,962
・その他支出	12,079
<経常収支>	24,915

1 法人紹介～概要～

ボランティア団体、介護工学研究会から平成15年8月に設立しました。福祉用具の修理・改善事業、不用自転車のリユース事業を行っており、福祉の増進と資源の有効利用を目的とした活動を続けています。

2 活動会員さん



修理技術を持った活動会員さんが対応しています。

◀車いすの修理中です

アピールポイント

高専教員と、市内外の福祉・医療・産業界の方たちによる情報交換会が行われ、この話し合いの中から形になったものなどの事業化のために、当法人を設立しました。新居浜高専を拠点として活動を行っています。

3 トイレでのつかまり台



「福祉用具改善相談コーナー」を実施しています。毎月一回（第三木曜日）新居浜市総合福祉センター1階にて。福祉用具の故障箇所を修理したり、使用者に合わせて使いやすいように改善を行います。（有料：材料費＋経費）。また、福祉用具の購入やレンタルを検討中の方に、当工房が保有する用具をお試しで使って頂けます。（無料：利用会員様限定）

4 電動車椅子

自転車のリユース

新居浜市と協力して、市民の皆様のご協力を得ながら、資源の有効利用と環境にやさしい街づくりを目指して、自転車のリユースに取り組んでいます。家庭からの不用自転車を回収→盗品確認→修理整備→安全確認の流れで、販売。お求めやすい価格設定で利用者も増えています。販売は定期販売会やフリーマーケットでを行い、出来る限りの求めやすい価格設定により、利用者も増えています。



法人データ

代表者	片上 政明（かたかみ まさあきら）
設立日	平成15年8月4日
理事数	12人
会員数	20人（平成21年10月現在）
URL	http://ikiikikobo.hp.infoseek.co.jp/
E-mail	hsakai83@hotmail.com

平成20年度決算状況

	(単位：千円)
(H.20.4.1～H.21.3.31)	
<経常収入>	2,233
・会費	20
・補助金	0
・寄付金	0
・事業収入	2,211
・その他収入	2
<経常支出>	2,299
・保健、福祉事業費	2,215
・その他支出	84
<経常収支>	▲66

1 法人紹介～概要～

高血圧は心臓、血管病の最も重大な危険因子であります。高血圧の方と家族の方はもちろん、全国の日本人を対象としており、平成20年8月に設立しました。高血圧の予防と治療を目的とした研究、調査の活動を続け、一般市民への知識の普及を図っています。

2 代表者



高血圧の予防と治療に関する知識の普及活動を全国に広めていきたいです。
◀荒川 規矩男さん

高血圧に対する注意点

日本人は、食生活からくる塩分の取りすぎで、高血圧患者は約4,000万人です。日本人の塩分摂取は1日約11グラム、世界的な目標は1日6グラム未満です。高血圧予防のためには1日約4グラムに食塩の摂取をおさえるのが理想的です。

アピール
ポイント

3 ギネス記録達成!



平成19年から開催している血圧測定会ではギネス記録を達成しています。世界高血圧の日(5月17日)に野球場で血圧の測定を行いました。平成21年は札幌、千葉、福岡の3球場で実施し、札幌ドーム球場では測定人数7607名と更に新記録を達成しました。

それと同時に被測定者の高血圧についての意識調査アンケートを実施して、高血圧の管理状態の実態と問題点などを明らかにする調査結果も出すことができました。

4 市民公開講座



全国の都道府県で開催しています。21年度は主催、共催と後援を含め45回開催しました。製薬メーカーなどの企業や地元の医師会などからの協力を頂き、地域の新聞や病院へのチラシ、ポスターでの宣伝によって、毎回多くの市民の方々に参加していただいております。

プログラムは、健康相談、血圧測定、血管年齢測定などのプレイベントと、高血圧に関する講演を行っています。

法人データ

代表者	荒川 規矩男 (あらかわ きくお)
設立日	平成20年8月27日
理事数	15人
会員数	474人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.ketsuatsu.net
E-mail	office@ketsuatsu.net

平成20年度決算状況

(H.20.8.27～H.21.8.31)		(単位:千円)
<経常収入>		1,143
・会費		343
・補助金		0
・寄付金		0
・事業収入		800
・その他収入		0
<経常支出>		1,736
・広報事業費		257
・講座、血圧測定事業費		181
・その他支出		1,298
<経常収支>		▲593

1 法人紹介～概要～

障害者の就労継続支援A型事業所として、観葉植物のレンタル事業、公立の観光温泉「山出憩いの里温泉」の指定管理者としての事業を手がけ、平成18年9月に設立しました。新しく農業部門への就労支援を予定しており、産業低迷の中、地域の振興と雇用創出のための活動を続けています。

2 なんぐん市場



歴史は長く、江戸時代から続く100%源泉かけ流しの温泉です。レストランでは地元産直のバイキングが楽しめます。

◀山出憩いの里温泉

地域の中で共に働く

温泉施設の就労は接客、掃除、調理など多様な業務があり、A型支援により、安定した賃金、仕事の確保ができます。愛南町でも就労の問題は大きく、障害の有無に関係なく、皆が同賃金で共に働くことを理想とし、地域の皆で進めています。

アピール
ポイント

3 就労支援事業



愛南町から委託を受けて推進しています。地域と密に連携した取り組みが展開できる基盤を作りたいです。

現在、観葉植物のレンタル業務「エコテリアなんぐん」と観光温泉施設の指定管理業務「エコビレッジなんぐん」を運営しています。これらの事業は厚生労働省の平成18

年度自立支援調査研究プロジェクトの「地域振興型障害者就労支援モデル事業」として



4 今後の活動

農家の方の高齢化などから、休耕田が増えていきます。有効に使うために農業部門の事業を進めています。みかん、柑橘類、野菜の栽培と収穫で、新しい雇用が生まれ出せるのではないかと考えています。また、地元の味、特産品作りにも力を入れていきます。自然に恵まれた愛南町をこれからもPRしていきたいです。

法人データ

代表者	梶田 道敏 (ますだ みちとし)
設立日	平成18年9月11日
理事数	8人
会員数	53人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.nangun.org
E-mail	yamaidasi@fuga.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	97,170
・会費	297
・補助金	10,245
・寄付金	700
・事業収入	63,264
・その他収入	22,664
<経常支出>	98,431
・就労支援事業費	13,179
・温泉事業事業費	56,207
・その他支出	29,045
<経常収支>	▲1,261

1 法人紹介～概要～

西条市内を中心に、障害をもって日々暮らす人達に対し、地域の身近なところへの就労支援・地域活動及びスポーツ活動への参加支援等を行いながら、自立と社会参加の促進、生活の質の向上と共生社会の実現を目指し、平成18年12月に設立しました。

2 地域と共に…



障害を持っている人が社会に出て認められること、また、感謝され自立していくことが1番の喜びです。

理事長：野口 征次郎さん

アピール ポイント

キャッチフレーズは、「地域と共に…」
働く…チャレンジしよう。あなたの夢・僕の夢。
住む・地域で暮らす…飛び出そう、地域の中へ。
余暇の充実・楽しむ…楽しもう、すばらしい人生。

3 地域活動支援センター「あけぼの」

地域で暮らしながら何らかの障害を持った方が、その人らしきより良い生活を送れるよう日常生活・就労の支援や相談に応じています。①**創作・文化的活動**→陶芸や手芸等の創作活動を行い、独自の才能や感性を生かせるように勉強します。②**生産的活動**→各地で開催される文化祭や福祉大会等で、展示販売する商品や展示物を製作しています。また、農作物の栽培を行い、農協を通して出荷したり産直市（東予園芸・周ちゃん広場等）へ出品も行っています。③**社会参加・地域交流**→地域の行事や各種団体等のイベントに参加することにより、社会や集団へのルールやマナーを学び社会参加へ取り組んでいます。④**スポーツ活動**→様々なレクリエーションやスポーツを行うことにより、健康づくり・体力づくりを行っています。また、西条市ふれあい運動会や愛媛県障害者スポーツ大会に毎年参加しています。

4 今後の活動



多彩な活動を通じて、障害者への理解を進め、障害のあるなしに関わらず、地域の中で楽しく暮らせるように環境を整えていき、高齢化が進み農業の担い手が減少し、後継者が不足している農業との連携を目指し、活動を継続してまいります。

法人データ

代表者	野口 征次郎 (のぐち せいじろう)
設立日	平成18年12月25日
理事数	8人
会員数	35人 (平成21年10月現在)
URL	http://www3.ocn.ne.jp/~akebono/top1.htm
E-mail	akebono1205@cup.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	8,717
・会費	600
・補助金	6,410
・寄付金	0
・事業収入	1,707
・その他収入	0
<経常支出>	7,947
・地域活動支援センター運営事業費	4,872
・就労支援事業費	1,194
・その他支出	1,881
<経常収支>	770

1 法人紹介～概要～

有志により作業所を設立、平成16年10月に設立しました。知的障害者に対して生活や就労等を支援する事業を行い、これらの人々が地域社会の一員として、楽しく主体的に暮らしていけるよう支援することにより、公益の増進に寄与することを目的としています。平成22年4月より就労継続支援B型事業所へ移行します。

2 代表者



「ハーモニーきらら」とは、皆が調和し、生き生き、キラキラ輝くようにとの願いを込めています。

◀代表理事：柴田 徳子さん

アピール ポイント

喫茶きららには、人懐っこい店員がいっぱいです。
地域の憩いの場として元気に営業中です。

3 喫茶きらら



宇和町卯之町4丁目の商店街に「喫茶きらら」があります。「障害者が地域と密着して生き生きと働けるように」との思いを込めて営業中。メンバー5、6人で店を切り盛りしています。メンバーは喫茶店で接客することにより、コミュニケーション能力を向上させることができます。商店街の立地もあり、近所の方がよく利用され常連客も多くなりました。市外からの毎日通う人がいるほどの居心地の良さも定評です。

◎営業時間：9:30～16:00（木、日、祝を除く）

4 虹作業所



設立当初は4家族で始めましたが、現在は11名の利用者と職員含めて15人で頑張っています。委託の内職作業以外に、作業所オリジナルのペン立てや雑巾、アクリルたわし、食品ではラスク、マドレーヌなどを販売しています。現在では県内の作業所との交流や社会見学など、いろいろな行事に取り組んでいます。まだまだ小さな作業施設ではありますが、頑張っていきたいと思います。

法人データ

代表者	柴田 徳子（しばた のりこ）
設立日	平成16年10月13日
理事数	6人
会員数	16人（平成21年10月現在）
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	16,192
・会費	30
・補助金	0
・寄付金	718
・事業収入	1,352
・その他収入	14,092
<経常支出>	13,837
・喫茶事業費	773
・作業所事業費	1,160
・その他支出	11,904
<経常収支>	2,355

1 法人紹介～概要～

平成16年6月設立。久万高原町にはハンディのある方、とくに子供達にとって設備の整った施設がないのが現状です。地域の人たちとの交流を大切にしながら安心して暮らせることを目的に、平成16年6月に設立しました。ハンディを持つ子供の親の会を母体として活動しています。

2 パステルくらぶ

アピール ポイント



平成10年に親の会を立ち上げました。久万高原町では唯一の知的・身体障害者のための施設です。

長く続けて、実践してきたことが、地域に認められていると思います。家族だけでは大変だけれど、「パステルくらぶ」という場所があることで、みんなと楽しく過ごせています。

◀パステルくらぶの仲間たち

3 パステル工房



「パステル工房」ではクッキーの製造、販売を行っています。今までの作業所は手狭で不便のため、キッチンを移転しました。平成21年、町や日本財団からの協力を受けて、美川地区の「美川つどいの広場」に「スイーツの森」としてリニューアルオープンしました。バターたっぷりです。一口サイズのクッキーはとてもおいしいです。いろいろな工夫をしながら利用者さんたちも頑張っています。

「パステル工房」ではクッキーの製造、販売を行っています。今までの作業所は手狭で不便のため、キッチンを移転しました。平成21年、町や日本財団からの協力を受けて、美川地区の「美川つどいの広場」に「スイーツの森」としてリニューアルオープンしました。バターたっぷりです。一口サイズのクッキーはとてもおいしいです。いろいろな工夫をしながら利用者さんたちも頑張っています。

4 パステルきっず

パステルきっずではキッズサポート（日中一時支援事業）や学校見学会、職場見学会（卒業してから働く場所）、講師を招いての講演会や勉強会などを行っています。会報の「パステル通信」では行事や毎日の生活について、みんなの言葉を寄せています。平成20年にはみんなで親の会10周年の記念文集を完成させました。



法人データ

代表者	白川 京子 (しらかわ きょうこ)
設立日	平成16年6月28日
理事数	5人
会員数	23人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	pastelclub@pastelclub.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	9,543
・会費	544
・補助金	6,430
・寄付金	148
・事業収入	1,473
・その他収入	948
<経常支出>	8,686
・共同作業所経費	7,978
・その他支出	708
<経常収支>	857

1 法人紹介～概要～

八幡浜市内を対象に就労の困難な知的障害者が、作業や社会活動を通して生きがいのある豊かなくらしをすることを目的として平成19年1月に設立しました。浜っ子共同作業所を運営しながら障害者と健常者が共生できる社会づくりをしています。

2 お話を伺った方

アピール
ポイント



いろいろな人の支えを感じながら施設を運営しています。

◀施設長：井上ひとみさん

浜の会は「利用者が主役の場所」として、誰でも気軽に来て利用者と触れ合ってアットホームな作業所です。

3 手作り品制作・販売

手作りで布製品や木工製品を製作しています。購入してもらった人からは「使ってみてとても良かった」との声や「人にプレゼントをして喜んでもらった」という声もあります。自分たちで何かしたと自信にもつながり、やる気向上にもつながっています。また、手作り品なのですべての商品が一点ものです。



4 リサイクル品販売



「安い価格でいいものが買えた」と喜ぶ人が多く、偶数月の第一木曜日には、千円で30リットルのポリ袋に衣類の詰め放題のセールを行っていて、口コミで市外から来る人もいるくらい好評を得ています。また休憩所を併設していて、お茶

を飲むことができますので、利用者との交流や買い物客同士で話をするなど輪が広がっています。

リサイクルショップ浜っ子まんぼう（浜っ子共同作業所に併設）
<営業日>月～金曜日（土・日・祝祭日は休み）、9:30～15:00

法人データ

代表者	篠崎 幹子（しのざき みきこ）
設立日	平成19年1月17日
理事数	6人
会員数	66人（平成21年10月現在）
URL	-
E-mail	hamakko-nakama@lagoon.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)		(単位：千円)
<経常収入>		
・会費	167	
・補助金	6,360	
・寄付金	543	
・事業収入	2,961	
・その他収入	196	
<経常支出>		
・地域活動支援センター経営事業費	9,996	
・その他支出	200	
<経常収支>	31	

1 法人紹介～概要～

障害のある人が自分らしくあたりまえに地域で生活する事を支援するために平成18年7月に設立し、主に着物リメイク事業を中心に障害のある人の社会参加促進に関する実践活動しています。平成22年4月からB型の就労継続支援施設に移行し、スタッフを増員し安定的な活動を行う予定です。

2 お話を伺った方



働ける人、そうでない人も区別なく来てほしいです。働けない人を価値がないと考える人が多いですが、そうではありません。生きていればそれでいい、そういう人が来られる居場所にしたいです。

◀ 理事長：佐野 卓志さん

アピール ポイント

腕利きの職人さんによるオリジナルデザインの商品を作業所のみんなで和気あいあいと楽しく製作しています。

3 着物リメイク事業

織り機作業



縫製作業



制作商品



近所の人に持ち込んでもらった古い着物をほどこき、洗濯、アイロンかけを行い織り機でおります。洋

服の仕立てはオーダー暦37年の専属のプロが縫製します。高島屋7階ハートフルプラザ・フジグラン重信ドリームプラザ・特定非営利活動法人ユニバーサルクリエイティブ主催の店・各種バザーにて販売しています。

4 漱石の病と『夢十夜』

理事の三好典彦さんが「漱石の病と『夢十夜』」で第25回愛媛出版文化賞の部門賞を受賞されました。この本をびあで購入されると売り上げの一部がびあに寄付されます。ご興味のある方は是非びあにお問い合わせください。

法人データ

代表者	佐野 卓志 (さの たかし)
設立日	平成18年7月24日
理事数	3人
会員数	16人 (平成21年10月現在)
URL	http://www7.ocn.ne.jp/~lutheran
E-mail	mugen@joy.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
< 経常収入 >	12,384
・会費	95
・補助金	8,184
・寄付金	127
・事業収入	3,835
・その他収入	143
< 経常支出 >	12,384
・地域活動支援センター事業費	8,548
・地域住民の理解促進活動事業費	3,836
・その他支出	0
< 経常収支 >	0

1 法人紹介～概要～

全国で18番目の民間支援団体として発足。平成14年6月に設立しました。犯罪や事故、災害に遭われた方やご家族に対し、電話相談を通して悩みの解決やこころのケアを支援しています。内容により面接相談や、裁判所などへ付き添う直接支援も行い、支援強化に努めます。

2 電話相談



◎毎週木曜・土曜日
(祝日・年末年始除く)
◎10:00～16:00
◎TEL (089) 905-0150
◎秘密厳守・相談無料

アピール ポイント

一人で悩まず、まず相談して下さい

専門的な研修を受けたボランティア支援員が相談を受けています。相談の内容により面接相談、直接支援(裁判所などへの付き添いなど)も行います。弁護士、臨床心理士などの専門家や警察とも連携し、ケアを充実させています。

3 犯罪被害者支援の歩み

被害者支援への取り組みは世界的にみてもまだ30年ほどしか経過していません。日本での運動はこの20年ほどで大きく展開してきました。それは被害者遺族の声から始まり、犯罪被害給付制度発足10周年シンポジウムから進展しました。被害者・遺族の置かれている立場の理解と精神的サポート、早期の支援活動呼びかけ、全国で民間支援団体が設立していく中、平成10年「被害者支援ネットワーク」を設立。全国でボランティアを中心に、各専門家や警察と連携しながら被害者の支援活動を広げています。

4 「こころの支援」



「犯罪被害者には、何の権利もない。どこからも保護を受けない、あたかも国籍を失ってしまった者のような存在である、……」。理不尽な犯罪による被害は本人はもとより、家族、遺族にまで人間生活の崩壊をもたらします。被害者の人としての

根本的な権利を守っていくため、市街地でのチラシ配布や、コンサートでの広報、募金活動を行っています。「広く知ってもらい、被害者に対する深い理解を持ってもらいたい。」活動への強い思いです。

法人データ

代表者	武井 義定 (たけい よしさだ)
設立日	平成14年6月10日
理事数	11人
会員数	155人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	kokorosien.ehime@shirt.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位: 千円)
<経常収入>	4,058
・会費	1,249
・補助金	1,221
・寄付金	1,556
・事業収入	0
・その他収入	32
<経常支出>	4,419
・広報啓発事業費	1,761
・支援活動事業費	1,124
・その他支出	1,534
<経常収支>	▲361

1 法人紹介～概要～

平成18年、発達障害児の支援を考えて行く親の会として発足し、平成19年4月に設立しました。発達障害児を抱える家族に対し、ピアカウンセリングを行うことに重点を置き、発達障害児者に対し地域生活支援や余暇活動、社会体験の場を提供し地域福祉に寄与することを目的としています。

2 代表者



将来は、発達しょうがい児が安心して就労、日中活動ができるような施設を立ち上げたいと思っています。

◀理事長：川中 浩揮さん

アピール ポイント

「ひとりじゃないって素敵だな」

療育の場が違っていても、発達しょうがい児者、その保護者同士が仲良く過ごせる場や勉強会、各種イベントを提供していきます。

3 発達しょうがいとは



発達しょうがいとは、自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害などが含まれ、「見えない障害」と言われます。当法人では自閉症の子どもたちと楽しく遊ぶためのハンドブックを作成しました。実際に自閉症の子どもたちと接したボランティアさんからの疑問や感想に、保護者が答えた生の声をまとめています。難しい用語などは一切無く、初めて自閉症の人と関る人のお役に立てると思います。自閉症の人と関ったことがない人も、この本を読んで興味を持っていただけることを願っています。

4 支援グッズお試しレンタル事業



現在は発達しょうがい者が日常生活を快適に送れるよう、様々な機材がありますが、便利と分かっているにもかかわらず踏み切れません。ぷちすてっぷでは、良質な支援グッズを格安にてお貸ししています。タイムタイマーやイヤーマフ、パーテーションなど各種取り揃えています。レンタル期間は1ヶ月～3ヶ月です。詳しくはホームページかお電話にてお問い合わせください。

法人データ

代表者	川中 浩揮 (かわなか こうき)
設立日	平成19年4月5日
理事数	3人
会員数	35人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.i.netwave.or.jp/~takemihono/putistep.html
E-mail	yass@lime.plala.or.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)		(単位：千円)
<経常収入>		1,202
・会費		197
・補助金		307
・寄付金		99
・事業収入		599
・その他収入		0
<経常支出>		1,200
・障害児者の社会参加・啓発のための講演会事業費		728
・障害児者の生活支援等の関係者のための勉強会事業費		71
・その他支出		401
<経常収支>		2

1 法人紹介～概要～

平成12年12月に設立し、障害を持つ人々が在宅就労向け講座の開催、講師派遣事業、パソコンボランティア活動事業などを通じて精神的・社会的に自立して、社会参加・就労できるようになるための事業を行っています。

2 代表者



理事長の川崎さんは05年にJAVAの勉強をしようとして講習会に参加したことがきっかけでぶうしすてむに携わるようになりました。

▲理事長：川崎 壽洋さん(左)
理事：二神 重則さん(右)

アピール ポイント

県内ではIT講習はぶうしすてむのみ。また**フェアビジネス**（障害者が受け取る賃金、中間搾取が少ない）という点では全国でもトップクラスです。HP作製、更新などスピードときめの細かい対応またその体制が整っています。IT技術の匠を目指しています！

3 パソコンボランティア活動事業



ボランティアと障害者が一緒に実践的なパソコンの勉強会を開催しています。これまで活動する場なかった障害者の人たちが

とって講習会でいろいろな人たちと出会うことで、また一緒に勉強することで友達ができ、**強い仲間意識**ともにパソコン技術習得のための向上心が生まれています。講習会を通じてこれまでになかった**有意義で楽しい時間**が過ごせます。

4 就労支援活動事業



障害者が、身につけたパソコン操作技術やパソコンの知識を生かして、様々な仕事を

通じて社会活動に参加できる環境を目指しています。そして**人の役に立てること、自らお金を稼ぐこと、生きがいを見つけたい**ます。また実際に身につけた技術を使い、働くことを通じて成功体験を得ています。そしてその積み重ねがやる気を生み、増幅して結果として障害者の人たちが**どんどん生き生きとしていきます**。

法人データ

代表者	川崎 壽洋 (かわさき としひろ)
設立日	平成12年12月6日
理事数	8人
会員数	80人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.busystem.jp
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	9,765
・会費	189
・補助金	1,915
・寄付金	847
・事業収入	6,432
・その他収入	382
<経常支出>	10,019
・就労支援活動事業費	1,352
・IT関連業務受託事業費	3,490
・その他支出	5,177
<経常収支>	▲254

1 法人紹介～概要～

平成8年新居浜市総合福祉センター内に障がい者施設、作業所の作品の展示販売のスペースの提供を受け、福祉の店コットン運営協議会として立ち上げました。平成19年6月には特定非営利活動法人として設立し、「販売技術を身につける作業所」として活動しています。

2 代表者



スタッフ1人1人が、地域の中でたくましく生きていってほしいと願って活動しています。

◀代表理事：岡 照美さん

アピール
ポイント

福祉の店コットンで扱っている商品は全て障がい者の作ったもの。それを障がい者が販売しています。

3 コットンのお店



ふれあいプラザ（新居浜市総合福祉センター）1階とイオンモール新居浜の中と2箇所にお店があります。新居浜市内、愛媛県内外の施設、作業所などの団体、個人の作品を委託販売しています。スタッフ（利用者）は9名、ふれあいプラザとイオンモール新居浜でシフトを組んで働いています。

スタッフは、ふれあいプラザでは、販売と自主製作品の製作を行っており、イオンモール新居浜では、主に販売を行っています。また、イオンモール新居浜出店者協議会主催の接客研修に参加して、年1回の接客ロールプレイングコンテストに出場しています。スタッフは皆「働いている」という意識を持って、自分の体力に合わせて一般就労を目指して活動しています。

4 社会参加

市内の施設作業所5箇所が、月に1回当番でイオンモール新居浜のお店の店番を担当してくれています。施設の利用者さんにとって、一般のお客様たちと接することは、社会参加の体験になり楽しみなことです。コットンとしてはお客様のニーズをつかみ、作業所へ新商品の提案ができるようにがんばっています。



法人データ

代表者	岡 照美（おか ひろみ）
設立日	平成19年6月5日
理事数	9人
会員数	11人（平成21年10月現在）
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1-H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	10,688
・会費	0
・補助金	5,100
・寄付金	235
・事業収入	5,246
・その他収入	107
<経常支出>	10,024
・心身障害者作業所運営事業費	9,739
・その他支出	285
<経常収支>	664

1 法人紹介～概要～

平成15年3月設立。近年の食の乱れや、健康、運動に対する間違っただ認識を正しくするべく、平成15年3月に設立しました。支援事業および教育事業を行い、地域住民の健康増進と子供の健全育成の促進を目的。栄養、健康医学、スポーツの分野の専門家達で構成された団体です。

2 代表者



フィットネスインストラクターとして活躍中の方です。次世代のスポーツ指導者を育てる活動もされています。

◀理事長：井門 恵理子さん

アピール ポイント

専門職を持ったメンバー達の力を発揮して年間を通してイベントや勉強会をしていきたいです！
新しいスポーツ栄養学など、子供たち、若者たちへもっともっと伝えたい！

3 事業紹介 1

寝たきりにならないために、 努力できること

高齢者（65歳以上）を対象として、介護防止のための栄養と運動指導の事業をおこないました。半年の期間で、体力測定→プラン作製→指導→測定結果をデータ化しました。基礎の体力をつけ、転ばない、怪我をしにくい筋肉をつけるのが目的です。高齢化社会の今、医療費を掛けない（病気しない、怪我しない）で健康でいられることは本人の幸せな人生、社会にとっても重要です。

4 事業紹介 2



「食」は命の源

保護者や食事提供者だけでなく、子供自身にも「食」を考えようとする気持ちを育てるのも、今後は大切な教育だと考えています。食育の事業として4～5歳児のキッズ対象

クッキングを行いました。料理してみて、栄養を考え、運動を取り入れて、身体に良い習慣を身に付ける機会になったと思います。

法人データ

代表者	井門 恵理子 (いど えりこ)
設立日	平成15年3月31日
理事数	10人
会員数	21人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	info@healthpro.jp

平成20年度決算状況

	(H.20.7.1～H.21.6.30)	(単位：千円)
<経常収入>		7,571
・会費		42
・補助金		0
・寄付金		0
・事業収入		7,527
・その他収入		2
<経常支出>		7,263
・保健・福祉事業費		7,237
・その他支出		26
<経常収支>		308

1 法人紹介～概要～

以前から地域家族会「日の出会」が地域の障害者の自立支援を続けており、平成18年3月にNPO法人を設立しました。「障害のある人の自立支援は町民全体の課題である」という思いから、久万高原町の住民の方たちやボランティア、医療福祉関係者の人たちと一緒に活動を続けています。

2 地域活動支援センター

アピール
ポイント



たこ焼き屋さん
と喫茶店の運
営、掃除などを
しています。

月曜日～金曜日
9:00～

◀あつぶるハウス久万

利用者さん達にお聞きしました

◎「あつぶるハウス久万の仕事について？」

▲「喫茶の仕事は楽しい、夕方は少し疲れる。」
「一生懸命仕事してお金をもらえる！」
「家に一人でゴロゴロしているより、みんなといると気分転換できる。」
「仕事が楽しい！」
正直な答えが返ってきました。

3 ケアホームあさひ・あつぶるハウス久万



共同生活介護事業として「ケアホームあさひ」を運営しています。現在10名の利用者さんが入居しています。長期入院したり、親御さんが高齢だったりするため、単身生活をしなければいけない方もみんなです。

暮らすと安心して、また住居としてプライバシーを確保しています。日中の活動の場として「あつぶるハウス久万」を運営しています。たこ焼き作りと喫茶の仕事をしていく中で、地域との交流をしています。



4 就労支援・自立支援

新しい利用者の方たちは、働くことをあきらめているところがあります。それはとても悲しいことです。でも一歩踏み出すきっかけがあれば、障害があっても普通に働くことができます。ひとつひとつ仕事を覚えて続けている人たちがいます。



法人データ

代表者	渡部 克彦 (わたなべ かつひこ)
設立日	平成18年3月7日
理事数	13人
会員数	14人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	22,602
・会費	50
・補助金	7,877
・寄付金	910
・事業収入	13,732
・その他収入	33
<経常支出>	24,055
・作業所運営事業費	11,099
・共同生活援助事業費	10,813
・その他支出	2,143
<経常収支>	▲1,453

1 法人紹介～概要～

人口の高齢化が急速に進展する中において、愛媛県内の高齢者や障害者などに、愛・忍耐・技術のもと、地域社会を豊かで住みよくなるため平成19年6月に設立し、福祉活動に関する事業を行っています。



2 代表者



地域のお年寄りのいこいの場です。お買物の途中などに、一度立ち寄ってみませんか。

◀理事長：谷 智美さん（中央）

アピールポイント

お互いのできることをする相互扶助のボランティア精神のもと、“気軽に話し相手がいる場所”としてぽっかぽか川之江があります。

3 いこいの場



生きがいサークルとしてや陶芸、交流の場として月に一回ボランティアスタッフとの食事会や、家庭で介護をしている人たちとの交流会などを行っています。高齢者が元気になる、いこいの場でお互いに仲良くなる様子がうれしく、地域の人たちが気軽に利用できる場所として、もっと利用が増えることを期待しています。今後は、孫・子・老（まごころ）が交流できる地域の憩いの場として地域の方々の協力を頂きながら長く続けたいと思っています。

4 まごころケアサービス



公的なサービスだけでは在宅が難しい人や利用できない人のための制度外の相互扶助サービスを行っています。「ありがとう」「来てくれて助かる」といった声を聞くとうれしく、励みになっています。まごころケアサービスという制度外サービスがあるということを知った地域の人にもっと知ってもらい、援助を必要としている人が住み慣れた場所で心豊かに生きるためのお手伝いをしていきたいと思っています。

法人データ

代表者	谷 智美（たに ともみ）
設立日	平成19年6月27日
理事数	3人
会員数	25人（平成21年10月現在）
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

	(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>		989
・会費		67
・補助金		100
・寄付金		11
・事業収入		811
・その他収入		0
<経常支出>		1,124
・在宅福祉サービス事業費		762
・その他支出		362
<経常収支>		▲135

1 法人紹介～概要～

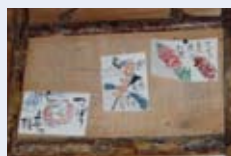
主に今治市内の障害のある方に対して、自分らしく地域で生活する事を支援するために平成20年1月に設立し、日中活動の場や地域とのふれあいの場の提供及び社会参加の促進に関する事業を行い、社会福祉の増進に寄与することを目的としています。

2 作業所外観



一人ひとりが行動的な「マインド」であって欲しい。地域活動支援センター共同作業所アクティブマインドの願いです。

アピールポイント



のどかな風景に囲まれ、豊かにのびのびと自立支援をする地域に根ざした作業所です。

3 いろいろやっています



マインドでは8人の通所者が、EMIぼかし作りや手漉きハガキ製作、空き缶・牛乳パック・古紙回収、農作業などを行っています。毎週行う調理

実習では、自分たちが作った野菜を使います。地域との交流では、作業所で作った紙を用いて絵手紙を描いて楽しめます。また今治市からの委託により公園清掃も行っています。他作業所やボランティアとの交流、外出などの余暇活動、季節ごとの催事にとアクティブに活動中です。

4 おはぎ販売マインド



住宅街に穴場の甘味処があります。「おはぎ販売所マインド」です。マインド通所者の保護者が主体となって製造販売をしています。通所者の就労訓練も兼ねたらベル貼り

付けや店員として、店舗で活動しています。今治市指定ごみ袋の売りさばき所にもなっていますので、ご利用いただければ何よりです。ご来店をお待ちしております。

◎営業日／火・金曜日 9:00～売り切れまで
◎TEL (0898) 47-3371 ◎住所／今治市旦甲349番地

法人データ

代表者	武田 典彦 (ただのりひこ)
設立日	平成20年1月21日
理事数	17人
会員数	120人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	a.mind@taupe.plala.or.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	10,915
・会費	1,318
・補助金	6,634
・寄付金	0
・事業収入	2,579
・その他収入	384
<経常支出>	11,147
・地域生活支援事業費	9,082
・就労訓練事業費	1,539
・その他支出	526
<経常収支>	▲232

1 法人紹介～概要～

平成13年に民間ボランティア団体として発足し、平成15年10月に設立しました。ピアレンダース憲章に則り、人生における苦悩、孤独等により、自殺の意思を示す人に対して感情的な支援を行うと共に、自殺に関する事項について社会一般に広く周知を図り、自殺防止を図る事で公益に貢献する事を目的としています。

2 「あなた ちょっと 話していかんかな。」



「あなた ちょっと 話していかんかな。」
ひとりで悩まず電話して！
ボランティアメンバーによる無料相談です。

ボランティアメンバー

アピール
ポイント

人生に悩み、苦しむ人々の叫びを丸ごと受け入れる**ピアレンディング** (Befriending=心の友として感情を支えること)を中心とした電話相談を行っています。

3 無料電話相談



自殺で亡くなる方は1998年以降、毎年3万人を超え、愛媛県下では毎年400人以上の方が自らの意思で命を絶っています。私たちは「傾聴」と「ピアレンディング」でその話、問いに応じます。カウンセリングとは異なり、対等な関係で話し合い、相談者が自立するまで伴走者のように寄り添いその気持ちを受け止めます。私たちは具体的にアドバイスするようなことはありません。ひとり一人が自らの力で問い直し、自らの力によって自立できるよう「心を支える」活動を行っています。

◎電話相談時間：毎週月・水・金 20:00～23:00

◎TEL (089) 913-9090

4 相談ボランティアの養成



相談ボランティアの養成を行っています。体験学習を中心にした研修を定期的に(年1回)行っています。

研修中に6時間、研修終了時に24時間(約3ヶ月)の電話実習過程があります。講座は多くの方が取り組める内容となっており、心身ともに健康な20歳以上の男女が対象です。今後相談日を増やすなどの実現に向けて、相談ボランティアに関心がある方、また松山自殺防止センターが普段どのような活動を行っているのか、関心がある方のご参加をお待ちしております。

法人データ

代表者	堀口 道春 (ほりぐち みちはる)
設立日	平成15年10月16日
理事数	4人
会員数	128人 (平成21年10月現在)
URL	http://www1.ocn.ne.jp/~mspc
E-mail	mspc@samba.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	938
・会費	178
・補助金	300
・寄付金	287
・事業収入	173
・その他収入	0
<経常支出>	1,145
・相談活動事業費	104
・広報活動事業費	473
・その他支出	568
<経常収支>	▲207

1 法人紹介～概要～

地域における障がい者の自立生活と社会参加を推進し安心して暮らせる社会の実現を目指して平成20年7月に設立しました。広報啓発事業、先進地域の事業見学、障がいを伴う方々が適切な支援を受け、ライフステージを通じて地域で豊かに暮らし続けるための仕組み作りを目指しています。

2 代表者

アピール ポイント



結：ネットワーク、連携・結び・人とのつながりという意味を込めて活動しています。

◀理事長：明智 恭平さん

誰もが地元で生き生きと暮らせるように、障がいを伴う方も子どもから大人までライフステージを通じてそれぞれの特性に合った一貫した支援を受け、特別な場所ではなく、当たり前前に地域で暮らせる仕組みを地元を作るために活動しています。

3 広報啓発事業



平成22年7月31日、宇都宮大学の梅永雄二教授による自閉症や発達障害を伴う方のライフステージを通じた支援について、ご講演いただく予定です。平成21年5月に、伊勢丹ソレイユの四王天正邦氏による「企業と障害者雇用」の講演がきっかけで、新居浜市役所内で知的障害者雇用のための実行委員会ができました。知的障害者の就労は困難とのイメージをもたれがちですが、適切な支援と工夫で企業の戦力となりうるという意識改革をしていくため、啓発活動を続けます。

4 多機能型事業所ワークチームゆい



障がいを伴っていても、その人に合ったことやできることを仕事と考え、地域密着型の事業を展開し、地域の人々に彼らが働いている姿を見てもらいたいです。個別支援をベースに生涯を通じて地域で暮らせる仕組み作りを目指します。障がいの重い人は、従来地域から離れた場所に通わなければならないのが現実です。しかし、地域の身近な場所で地域の人たちと一緒に生きていきたいのです。

◎利用時間：9：30～15：30

◎月～金曜日（月2回は土曜日も）

法人データ

代表者	明智 恭平（あけち きょうへい）
設立日	平成20年7月23日
理事数	7人
会員数	65人（平成21年10月現在）
URL	http://yuinet-hiihama.com
E-mail	info@yuinet-niihama.com

平成20年度決算状況

(H.20.9.1～H.21.8.31)		(単位：千円)
<経常収入>		644
・会費		268
・補助金		120
・寄付金		38
・事業収入		218
・その他収入		0
<経常支出>		1,410
・障がい児・者のための学習支援・相談事業費		163
・広報啓発事業費		4
・その他支出		1,243
<経常収支>		▲766

1 法人紹介～概要～

平成18年3月に松山青年会議所のメンバー8人で設立しました。国籍・性別や障がいの有無に関わらず、あらゆる人が支え合い、いきいきと安心して対等に暮らせる「ユニバーサル社会」の実現を目指し、主に障害者・障害児を取り囲む状況・環境の改善に取り組んでいます。また、まちづくりや地域コミュニティの創造にも積極的に取り組んでいます。

2 代表者



活動のきっかけは、自分の子供がハンディを持って生まれてきたこと。「足りないものを探すより、持っている力を生かすことが大事だ」と子供達に気づかせてもらいました。自分を変えてくれたのは子供たちです。

▲代表理事：佐伯 康人さん

アピール ポイント

活動を行う中で、つらい経験もしましたが「自分達の力でよい町を作っていきたい!!」という気持ちで活動してきました。同じ気持ちを持つ人達と活動を行い、支え合うすばらしさ・人垣を作り合う大切さを実感しました。今後は、教育・生涯学習をテーマに自分らしく生きていく情報や知恵を提案・提供していきたいです。また、「ユニバーサル社会基本法」も提案し、実現に向けて努力します。

3 事業内容

①「えんむすびプロジェクト」…3つのえん①経済支援の「円」②対外交流の「縁」③自立へ向けての協働「援」を結ぶのがコンセプトです。地域のチャレンジド（働く障害者たち）に対し様々な就労チャンスとしてのフィールドづくりを支援することを目的とし、チャレンジドの所得向上や新体制の構築、イベントなどを行っています。企業や福祉施設とのつながりをもとに新商品の開発なども行っています。えんむすびプロジェクトの活動・詳しいイベント内容はホームページをご覧ください。②「ユニバースクール」…障害児を対象にパソコンを使った学習を行う、障害児のための放課後教室です。ユニバースクールでは、子供たちがパソコンを取り合う程、パソコンが大人気!個人の能力に応じた表現方法を共に考え、楽しく学んでいます。③「ネットビジネスマスター養成講座」…働く障害者のためのネットショップ店長養成講座です。この講座では、通販事業のスキルを学びます。



法人データ

代表者	佐伯 康人 (さえき やすと)
設立日	平成18年3月29日
理事数	7人
会員数	60人 (平成21年10月現在)
URL	http://enmusubi.biz/~uc/
E-mail	unicre@enmusubi.biz

平成20年度決算状況

(H.19.9.1～H.20.8.31)	(単位：千円)
<経常収入>	3,720
・会費	39
・補助金	580
・寄付金	92
・事業収入	3,009
・その他収入	0
<経常支出>	3,384
・えんむすびプロジェクト事業費	3,037
・アトリエメイドプロジェクト事業費	205
・その他支出	142
<経常収支>	336

1 法人紹介～概要～

平成14年9月に設立し、県立中央病院の南側にて難病をもつ子どもとその家族のための滞在施設「ファミリーハウスあい」を運営しています。その他にも、臨床心理士や病気などを持つ親による小児慢性特定児支援相談事業、媛っこすくすく愛キャンプ、研修会等様々な活動を通じて病気や障害をもつ子どもと家族を支援しています。

2 代表者



病院近くのわが家（滞在施設）の運営を中心に病気や障害をもつ家族を支援しています。

◀理事長：石井 榮一さん

アピール ポイント

病気の子どもと家族を支援する、病院近くの“わが家！！”です。

3 ファミリーハウスあい



21年度は6割ぐらゐの稼働率で毎年度の平均は65～70%ぐらゐです。ご利用は、一家族一部屋です。入院しているときばかりではなく通院時

に患者・家族が利用することもあります。利用者は、遠くは海外からも含めて全国から来ています。「今回娘の外泊が決まりましたが、家が遠いために医師の薦めもありお世話になりました。」「一人でゆっくり寝られるありがたさもお風呂に入れる楽しみも久しぶりに味わえました。」という利用者の声もあります。

4 小児慢性特定児支援相談事業



臨床心理士による心理的（病気に関わる不安、病児の将来への不安、病児のきょうだいの問題等）の相談

や小児慢性特定疾患児をもつ親によるピアカウンセリングを愛媛県の委託事業としてファミリーハウスあいで行っています。※ピアカウンセリングとは、共通の病気や障害をもつ子どもさんの親同士で話をするることにより、気持ちの共感や悩みを解決する手法のことです。

法人データ

代表者	石井 榮一（いしい けいいち）
設立日	平成14年9月10日
理事数	21人
会員数	336人（平成21年10月現在）
URL	http://www.npo-lafamille.com
E-mail	famille@npo-lafamille.com

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	9,281
・会費	837
・補助金	200
・寄付金	1,624
・事業収入	6,580
・その他収入	40
<経常支出>	9,273
・ファミリーハウスあい運営事業費	4,838
・相談事業費	700
・その他支出	3,735
<経常収支>	8

1 法人紹介～概要～

内閣府認証団体として平成11年12月に設立し、21年12月にNPO法人化10周年を迎えました。新居浜で倫理を学ぶ会として始まり、「実践」「奉仕」「感謝」の理念を掲げて活動しています。徳島県三好市ではまちづくりの事業も行っています。

2 代表者



法人化前より、どのようなときも変わらず事業を継続してきたことで信頼を頂き、息の長い活動が続いています。

◀会長：井上 富男さん

アピール ポイント

まず、人ありき
我よかれ人よかれ から
我よりも人よかれ との
心のもちかたで活動しています。

3 青少年健全育成事業



子ども体験学習イベントを月に1回行っています。自然体験や、礼儀作法、伝統文化の体験などを企画、運営し、子どもの豊かな心の育成を目指しています。中学生になると下級生たちを指導することも学びます。活動は主に四国中央市で行い、稲作体験は徳島県三好市まで出かけて行きます。また、新居浜市に学童保育「子どもの村」を設置し、平日の放課後を初め、サマースクールや春休み教室を開催しています。



4 高齢者福祉実践事業



暮らしのお手伝いをさせていただくと、平成9年より配食サービスを行っています。お届けする際に、利用者の方の安否確認をすることに重点をおいています。全品手作りのお弁当で、できるだけ地域の食材・国産の食材を使用しています。また、介護保険事業を平成12年に新居浜市ではじめ、現在は松山市でも事業を行っています。福祉有償運送として新居浜市内を発着点として単独移動が困難な方のための移送サービスも行っています。

法人データ

代表者	井上 富男 (いのうえ とみお)
設立日	平成11年12月13日
理事数	8人
会員数	583人 (平成21年10月現在)
URL	http://www1.ocn.ne.jp/~rinkun/
E-mail	rinkun2@basil.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	114,489
・会費	5,119
・補助金	1,504
・寄付金	13,978
・事業収入	93,616
・その他収入	272
<経常支出>	115,428
・生活支援活動事業費	52,155
・訪問・居宅介護事業費	41,111
・その他支出	22,162
<経常収支>	▲939

1 法人紹介～概要～

地域や生活圏での関わりを大切にしながら、地域に必要とされる機能を事業化し、より暮らしやすい社会の実現を目指して、平成12年3月に設立しました。働くスタッフ一人ひとりが、経営感覚を持ち運営しています。利潤をあげることをのみを目標とせず、地域住民の利益を優先する事業体です。

2 ワーコレの仲間たち

アピール ポイント



一人ひとりが自立した仲間たち。

◀定例会で集合しました

今こそ、支え合い、助け合いが必要です。今、目の前にいる困った人のために「何とかする」の気持ちで赤ちゃんからお年寄りまで、笑顔や愛の輪を広げていけるよう日々活動を続けています。

3 活動しやすい環境

入会時に入会金、月々に会費を負担して頂き、事業運営しています。

個々の事情に合わせた働き方を勤めています。スタッフの年齢層も幅広く、お互いについていけるよう認め合い、フォローしながら活動しています。

事業所ごとのチーム会や全員参加の定例会では、個人の意見が尊重され、活かされて運営につながっています。

4 介護保険事業・地域貢献型食堂

医療・福祉に参加する…利用者や家族の要望を医療や福祉の現場に反映できるよう、話し合い、理解しあい、折り合いをつけながら、一人ひとりのニーズに合わせたサポートができるような事業運営を目指しています。



◀おふくろの味食堂「まんまる」

国産の食材だけを使用し、地産地消をモットーに、体に優しい新居浜近辺で育った野菜中心の定食を、毎日皆に食べてもらえるように、心をこめて料理しています。

法人データ

代表者	村上 利香 (むらかみりか)
設立日	平成12年3月6日
理事数	16人
会員数	79人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	info@wohito.or.jp

平成20年度決算状況

	(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位:千円)
<経常収入>		90,272
・会費		2,191
・補助金		0
・寄付金		0
・事業収入		86,738
・その他収入		1,343
<経常支出>		90,147
・介護保健事業費		74,498
・その他支出		15,649
<経常収支>		125

1 法人紹介～概要～

平成13年介護職員を中心に活動を開始。高齢者・障害者に対し福祉サービスを提供するとともに、高齢者・障害者が自分らしく自宅で生活できるように在宅サービス及び外出しやすい町の実環境整備（心のバリアフリー）を行い、関係機関・団体と密接な連携を図りながら豊かで活力ある長寿社会の実現を目指し、平成13年7月に設立しました。

2 スタッフ



「ともかく動こう!!」
知・覚・動・考
2001年・毎日介護賞
松山支局長賞 受賞

◀理事長：
重松 美穂さん
(前列中央)



アピール ポイント

わ「和」=穏やかな気質を表し、求めによく応じるもの。角張らず、人と親しくするさま。柔軟に物事の道理に順応なさま。を「遠」=久しく変わらないさま。広大無辺に広がるさま。限りなく物事や能力をのぼす。ん「无」=飾らず自然に振舞う。首尾よく物事を収める。過失なく物事を成し得るさま。

3 事業内容



介護支援事業**…介護者の為の在宅での口腔ケア講習・オーソソマカラーセラピー・フラメンコ講習。介護教育事業**…ジュニアサポーター研修・ベトナムクリーニング・衣服介助・車椅子介助。***利用者支援事業**…心身機能活性運動療法（認知症の改善・脳卒中後遺障害の改善）・有酸素運動。***高齢者疑似体験研修**…今治市内各小・中学校・ホテル・スーパー・県バス協会にて実施。身体が思い通りに動かない高齢者の気持ちを理解してもらおうと高齢者疑似体験研修を行っています。参加者は肘や膝、指などの関節をサポートャーや手袋で動きにくくし、重り入りのチョッキや耳栓、視力を下げる眼鏡などを身につけ自動販売機や階段の昇降を実際に行います。参加者からは、「想像していたよりずっと大変だった。」「お年寄りの気持ちが理解できた」と言われます。

4 今後の活動

今後は今までの活動を継続しながら、組織運営を強化し、利用者が泊まれる施設＝コミュニティカフェを作り、介護保険に頼らない新たなサービスを目指しています。



法人データ

代表者	重松 美穂（しげまつ みほ）
設立日	平成13年7月18日
理事数	7人
会員数	15人（平成21年10月現在）
URL	http://www5.ocn.ne.jp/~wawon/
E-mail	wawon@estate.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

	(単位：千円)
(H.20.4.1～H.21.3.31)	
<経常収入>	13,712
・会費	0
・補助金	0
・寄付金	0
・事業収入	13,712
・その他収入	0
<経常支出>	13,729
・訪問介護事業費	7,558
・居宅介護支援事業費	2,976
・その他支出	3,195
<経常収支>	▲17